

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	玉井整形外科内科病院	階数	地上3F
建設地	大阪府大阪市下出	構造	S造
用途地域	準工業地域、法第22条の指定区域	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年7月 予定	評価の実施日	2019年6月3日
敷地面積	2,983 m ²	作成者	三瓶健
建築面積	1,015 m ²	確認日	2019年6月3日
延床面積	2,792 m ²	確認者	三瓶健



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	85%
③上記+②以外の	85%
④上記+	85%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.3

音環境	2.6
温熱環境	1.2
光・視環境	2.4
空気質環境	3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.9
効率的	2.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.0
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.5
地域環境	2.8
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
本物件は現存する病院の建替計画の一部であり、今回増築する部分を評価する。		
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆または規制対象外の建材を全面的に採用して、空気室環境に配慮する。	Q2 サービス性能 ・天井高を2.5m以上確保し、一床当たりの面積を広くとることで機能性に配慮する。 ・非常用電源を設置したり、災害時の給水計画をたてることで、災害時や緊急時に建物機能を維持できるように配慮	Q3 室外環境(敷地内) ・限られた敷地の中で、緑地を配置して温熱環境の改善に配慮する。
LR1 エネルギー ・BPI=0.79と建物の断熱性能を高めて省エネルギーに配慮する。	LR2 資源・マテリアル ・節水器具を採用し、水資源の確保に配慮する。	LR3 敷地外環境 ・広告物照明を設置せず、周辺地域への光害に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0050

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	玉井整形外科内科病院					
		建設地	大阪府阪南市下出					
		用途/区分	病院					
【評価結果】		CASBEE 総合評価	★★★★★			B-		
①	CO2削減	★★★★★			4			
②	みどり・ヒート アイランド対策	★★★★★			2			
③	建物の断熱性	★★★★★			5			
④	エネルギー削減	★★★★★			3			
⑤	自然エネルギー直接利用				—			
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.5	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.9	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項								